

直方文学散歩・俳句編
直方の句碑巡り その一

全国各地の芭蕉塚（芭蕉句碑）

松尾芭蕉（一六四四～九四）は、それまで滑稽など娯楽性重視の俳諧をわびさびの世界を求める芸術性の高いものに変えた正に巨人です。

そのため芭蕉が足を運んでいないところを含め全国各地に芭蕉塚（芭蕉句碑）があり、「芭蕉塚菟」（田中昭三編）によると全国に二四四二基、九州に二一六基、福岡県に七四基があるとされています。

筑豊地区にも飯塚市三、鞍手郡の旧宮田町二、旧若宮町一、小竹町一、田川郡添田町二、直方市一の計十基があります。

多賀神社境内の芭蕉塚

設置場所は南側陸橋を殿町側から多賀神社境内に上がって右側すぐのところとす。左側は直方碑から石炭記念館入口へ）

設置時期は明治二十四年一八九一年、施主は新入の俳人岩野柳影で、台座には賛同者の直鞍の俳人四十名

の名が刻まれています。

碑の表面には芭蕉の有名な句の「古池や蛙飛びこむ水の音」が、裏面には岩野柳影の句の「夢の世の忘記念や一夜草」が玄武岩の陽形自然石に刻まれています。一夜草とはスミレのこと。



多賀神社境内の芭蕉塚（芭蕉句碑）

諸九尼の出身地の変遷

諸九尼（一七一四～八一）が元直方藩士で俳諧師の有井浮風（二七〇二～六二）の妻となった経緯は、直方市史下巻（昭和四十六年一九七一年発行）では現在の久留米市田主丸地区に指導に赴くうち、庄屋の妻であったなみと駆落ちして大坂で俳諧の指導に当たったとあります。

一方で「直方市制記念誌」（昭和七年）と「鞍手郡誌」（昭和九年）では山部村尾仲家に生まるとあり、戦前は直方出身とされていました。

諸九尼の二つの句碑

1 多賀神社境内の比翼句碑

殿町側の宝永の鳥居から石段を上がってすぐ、左手の鉄道線路側にある新しい句碑で平成二十六年二〇一四年に直方文化連盟が建立しました。

諸九尼の句の

「行春や海を見て居る鴉の子」と

浮風の辞世の句

「つれもありいまはの空にほととぎす」が刻まれています。

2 中央公民館敷地内の諸九尼句碑

敷地の東側、堤防道路側に沿った植え込みの中にあります。

昭和五十九年一九八四年に直方ホトトギス会が建立しました。

自然石に諸九尼の筆跡による句の「世を捨て見る分別や山さくら」が刻まれています。



中央公民館敷地内の諸九尼句碑

直方の歴史と文化

文 桼 正 澄

文化財に関する問い合わせ…文化・スポーツ推進課社会教育係（TEL 25-23326）

人の動き

■人口 56,350 人（－283） ■世帯数 27,316 世帯（＋130）
[うち外国人 578 人]
男 26,627 人（－100） すべて令和2年10月末現在
女 29,723 人（－183） （ ）は前年同月との比較

<発行>直方市
〒822-8501 福岡県直方市殿町7番1号
URL … <http://www.city.nogata.fukuoka.jp/>
<発行日>毎月1日（月1回）
<編集>秘書広報課秘書広報係
TEL … (0949)25-2236 FAX … (0949)22-5107
E-MAIL … n-koho@city.nogata.fukuoka.jp
<印刷・制作>株式会社ワールドプリンティング



市ホームページ

インターネット
情報提供サービス

SNSやwebサイトで様々な情報発信を行っています。ぜひ、ご覧ください。

アプリ「マチイロ」



市報をアプリで配信中！

情報メールつながるおがた！



緊急情報、イベント情報など

直方市Instagram



さあ、あなたもフォロー！

直方市公式LINE



直方市と友だちになろう！

直方市バーチャルミュージアム



直方の文化を隅々まで